

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ゆにぼ

公表日 2025年2月26日

利用児童数 2024年11月22日

回収数 34名/47名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
								環境・体制整備
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	1				一人一人のプライベートスペースは確保されていると考えています。全体として133平米の床面積となります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	2		2		小学校への送迎時には、直接支援を担当するスタッフが学校にお迎えに向かいます。送迎後は、通常4名のスタッフで対応しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2				ホワイトボードには、今日の流れ（時刻や活動）を掲示し、視覚的に予定が分かるように工夫しています。部屋は用途に応じて割り振られており、分かりやすいよう図で示しています。また、おもちゃ入れには収納するものの絵を貼り付け、視覚的に認識しやすくしています。室内は、怪我防止と防音対策としてクッションを敷いていますが、その影響で車いすでの移動が難しい状況です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1				入口には手指消毒剤を設置しています。テーブルなどが汚れた際には、すぐにアルコール消毒を行っています。また、常時換気や空気清浄機の使用により、室内の空気環境を整えています。広いスペースを活用し、活動ごとに場所を確保することもあります。学習室、多目的室、活動スペースなど、用途に応じてエリアが区切られています。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34				・ソーシャルスキルトレーニングなどがあるよいなと思います。 ・苦手課題のプリントを用意して下さっています。	個別のSSTは実施していませんが、利用者の遊びの場にスタッフが関わり、SSTの一環として必要に応じて声かけを行っています。利用者の好きな活動から始め、さまざまな活動に関心を広げられるよう配慮しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1				事業所で取り組んでいる活動をもとに支援プログラムは構成されています。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34				・学校での課題等詳しく聞いて頂き支援計画に反映して下さっています。	保護者面談や本人中心者会議の内容を元に担当者会議を経て個別支援計画を作成しています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	3			1		本人支援については、5領域を考慮しながら支援内容が設定されていると考えています。家族支援においては、ご家庭での困りごとを支援内容に反映させるよう努めています。移行支援については、検討項目となります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1					ご利用前の打合せにて個別支援計画書の内容を確認して対応しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34					・毎回色々工夫していただき、飽きることなく通えています。	季節に合わせた活動も取り入れています。お子さまによっては取組みが進まないこともあります。興味がひいてもらえるよう工夫して進めていきます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	22	2	2		7	・公園遊びの時に地域の子供と接する機会があるかもしれません。 ・交流を盛んにして下さり本人も喜んでいます。	公園遊びに加え、地域の公民館や社会福祉協議会の活動に参加するなど、事業所外での活動を通じて交流を深めています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1				契約締結時に各種内容について、書面とともに口頭にて説明しています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	1				個別支援計画書については保護者に内容をしっかり確認して頂いたのち、署名を頂くようにしています。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	3	2	4	研究会や講演会の案内を入口に掲示しています。また、年に1回、保護者会を開催しています。さらに、毎月発行している事業所便り「ゆにばだより」では、保護者向けの啓発資料を掲載しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	33	1			保護者と日々の利用状況を説明する中で、お子さまの状況について情報共有を進めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1			保護者からのご相談は、6か月に1回の面談時に加え、必要に応じて随時対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	2			高圧的な態度をとらないよう心がけていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	9	1	4	年に1回保護者会を開催し、各ご家庭の様子についてお互いに話を聞く機会を設けています。きょうだい同士の支援は今後の検討項目です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2		2	面談や電話での相談、また毎月発行している事業所便り「ゆにばだより」にて、事業所で相談を受け付けていることを掲載しています。メールの返信なども迅速に対応していると考えています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1			お迎えに来られる保護者には、その場で情報交換を行うとともに、連絡はメールでさせていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	1		1	・webシステムで活動記録の閲覧などが可能になると、より有難いです。 Webでの閲覧は難しく、現段階では検討していません。毎月発行している会報を通じて、月々の活動内容や予定の情報発信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			1	個人情報ファイリングして保管庫で保管しており、必要な情報のみを指導員に伝えるなど配慮しています。また、研修時には必要に応じて個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1		3	マニュアルは作成されています。保護者への周知については、毎月発行している事業所便り「ゆにばだより」で案内することを検討しています。また、BCPの訓練は実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32			2	避難訓練を年2回実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	2		1	安全点検等実施していますが、計画についても保護者にも周知されるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	3		3	事故等（怪我等を含む。）については、その日に保護者へ口頭で報告しています。連絡が取れない場合は、電話、メールの順で対応しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	2			継続して通所したいと思っていただけるようなプログラムを考えていきたいと考えています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	2			・土曜日の「つくるん♪」も楽しいようです。 ・気持ちの波があるので。 ・楽しく通っており、親としては安心しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34				遊びを通して、子どもたちが適切な距離感やコミュニケーションを持てるよう、声かけをしてきっかけを作り、相手の気持ちを考えたり、伝える言葉をその場でお伝えしています。